



## 校訓

○向学・誠実・調和

## 教育目標

○自ら学び考え行動する  
人間性豊かな生徒の育成

令和8年1月9日

No. 9

世田谷区立駒沢中学校

校長 和田 直樹

## 目的と目標

副校長 吉森 祐司

2学期の終業式、全校生徒を前に「目的と目標」という話をしました。

この二つの言葉、同じようなものを指し示すため、混同して使っている方も多いのではないのでしょうか。言葉の違いを生成AIに質問すると「目的は『大きな方向性』、目標は『その方向に進むための具体的なステップ』」だと教えてくれました。さらに図解もお願いしてみると右のような図を示してくれました。



(Microsoft Copilot により作成)

生徒には、「大きな方向性である目的だけでもっていても、目標がなければ、そのゴールには到達できない。例えば3年生、高校に合格するという目的を設定することはできても、そのためにどのようなステップを踏んでいくのかという目標が設定できなければ、目的にはたどりつけない。いきなり2階や3階には行けないのと同じで、階段を一段一段登っていく必要がある。だからぜひ、この冬休みは、一人ひとり目的にたどり着くための目標を設定して、できることを着実に実行する期間としてください。」と話しました。冬休み、生徒たちはどのように過ごすことができたでしょうか。

そして、昨日3学期の始業式に次の話をしました。以下抜粋です。

この冬休み、先生は「ひゃくえむ」というアニメーション映画を見ました。見た人はいますか。見ていない人のためにどんなお話か少し話すと、生まれつき足が速い主人公が陸上競技の短距離種目に命を懸けて臨む中で、成長していくという物語で、タイトルの「ひゃくえむ」も100m走から来ています。この中、主人公が、行き詰まり悩んでしまった際に、先輩のランナーから「なんのために」という言葉が投げかけられます。主人公の場合、「なんのために“走るのか”」ということになるのですが、この「なんのために」を主人公は無我夢中で探していきます。【中略】

皆さん、自分の立場で考えてみてください。皆さんは、「なんのために」学んでいますか。そう言われると、なんだかわからなくなってしまうのではないのでしょうか。先生も、「なんのために」働いているのかと聞かれると正直、答えがすぐに出てきません。ここに立っている先生方もそうなのではないでしょうか。

しかし、視点を変えれば、少し答えやすくなります。

例えば、副校長先生の場合、「なんのために駒沢中学校の副校長として働いているか。」と聞かれたら、それは「生徒の皆さんのこれからの人生のため、ここにいる先生方の人生そして家族のため、これから入学してくる生徒たちのために私は駒沢中学校で副校長として働いている」と、答えます。

皆さんも少し視点を変えてみてください。

1年生、2年生、「あなたはなんのためにこの一年間頑張ってきましたか。」

3年生、あなたはなんのためにこの3年間頑張ってきましたか。」

そして皆さん、そのゴールには到達しましたか。やり残していることはありませんか。

今年度、あと3か月あります。3か月しかと考えたら、あっという間です。そして、何も考えずに過ごしてしまったら、今年度目指すべきゴールにはたどりつけないかもしれません。

なんのためにという目的を達成するため、何をしなければならぬか。まだあと3か月もあります。しっかりと目標を立てて、この3学期を過ごしてください。

(令和8年1月8日 3学期始業式 副校長講話より)

令和8年が、生徒だけでなく、駒沢中学校に関わるすべての方にとって幸多き年となりますようお祈りするとともに、生徒にとって3学期が成長のための重要なステップとなるよう、教職員一同、精一杯支援してまいります。本年も一年間どうぞよろしくお願いいたします。

## 情操教育の充実

令和7年末、世田谷区文化・国際課の協力を得て、区が所有する美術品20点を体育館前廊下に展示し、駒中アートギャラリーとしてオープンしました。

## 駒中アートギャラリーOPEN



体育館前「駒中アートギャラリー」の一部

世田谷区では、「世田谷区第4期文化・芸術振興計画」において、庁舎や公園等の身近な場所での区が所有する絵画や彫刻等の美術作品を展示

することで、「誰もが、身近なところで文化・芸術に触れ、親しむことができる機会の実現」を図ることとしています。この事業に、この度、駒沢中学校として応募、20点の絵画作品をお借りし、設置することができました。学校としては、日常的に子供たちが優れた絵画に接する環境を作ること、生徒の感受性、共感性、思いやり、創造性など、人間としての豊かな心を育てる情操教育の一環として活用していきたいと考えています。

また、それだけでなく、本ギャラリーを今後、近隣小学校・保育園・幼稚園、保護者、地域の皆様にも見ていただく機会を作り、駒沢地区のアートステーションの一つとしていきたいと考えています。

## 【展示絵画】

※横書きを記す

- 「杜甫詩」 作 成瀬映山
- 「和歌一首」 作 岡田睦竹
- 「八坂の塔」 作 八田哲
- 「オーヴェールの教会」 作 ヴィンセント ヴァン・ゴッホ
- 「セーブル街道」 作 アルフレッド シスレー
- 「舞台のダンサー」 作 エドガール・ドガ
- 「ムーラン・ド・ラ・ギャレット」 作 ビエール オギスト ルノワール
- 「玉ねぎのある静物」 作 ボール セザンヌ
- 「パリ郊外の風景(3)」 作 前川陸子
- 「LITTLE BRIDGE」 作 黒井健
- 「印象日の出」 作 クロード・モネ
- 「スペインの風車」 作 遠藤喜丸
- 「ルーアンの街」 作 木村廉
- 「水辺の古城(フランス シャンティイ城)」 作 山家久幸
- 「春の坂道」 作 山家久幸
- 「古城の秋(ドイツ ノイシュヴァンシュタイン)」 作 山家久幸
- 「南フランス風景」 作 織田義郎
- 「風車とアーチゲート(スペイン)」 作 山家久幸
- 「サクレールとメリーゴランド(パリ)」 作 山家久幸
- 「早春のローワール」 作 山家久幸

## 読書活動の推進

## 駒中ライブラリーコリドー設置

1月8日、4階中央トイレ周辺の廊下壁面に、世田谷文学館出張展示キット「移動文学館」を設置し、「駒中ライブラリーコリドー」として開設しました。

この「移動文学館」は、世田谷文学館が、「物語の世界に飛び込

むような美しい写真パネルや、絵本のワンシーンを迫力のサイズで楽しめる掲示物や、作品だけでなく作家の生涯も紹介する掲示物(同館パンフレットより)」を区内小中学校に貸出しているもので、駒沢中学校

では、読書活動の推進を一層図るため、この1月及び3月に借り受けることにしました。1月の掲示は、「SF入門 星新一」です。この展示は、「星新一」をはじめとしたSF小説の世界を美しいイラストで表現した掲示で、小説からの引用文と大きな絵が、世にも不思議な物語の世界へと誘います。(同館パンフレットより引用)

本校は、図書館が教室から離れている場所にあるため、これ

より、気軽にアクセスしやすい場所にあるため、これまで、廊下に図書展示をしたり、教室に学級文庫を設置するなどの、取組を行ってきました。こうした取組同様、生徒の読書意欲の向上につながるよう期待しています。



1日(木) 元日

7日(水) 冬季休業終

8日(木) 始業式

13日(火) 子供 夢・アート・アカデミー(1)

15日(木) 区生徒作品展覧会始

～18日(日)

19日(月) 避難訓練(Jアラート)

20日(火) 理科・保健体育科出前授業(3)

23日(金) 鎌倉校外学習(2)

ダンス発表会(1)

26日(月) せたがや学びメッセ

日本語週間始⑤⑥カット

29日(木) 理科・保健体育科出前授業(3)

(数字)は、当該学年を、○数字は、授業時間を表しています。



一月の主な予定